

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第5号	
事故等種類	衝突（灯標）	
発生日時	平成22年1月18日（月） 10時55分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇市那覇港 ^{やまとくち} 倭口第4号灯標 （概位 北緯26°14.4′ 東経127°39.7′）	
事故等調査の経過	平成22年1月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	水中遊覧船 マリンスター、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	200-31746 沖縄、株式会社マリン観光開発	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	乗客1人（前胸部打撲）	
損傷	本船 左舷船首凹損 灯標 灯器破損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、スタッフ1人及び乗客38人を乗せ、那覇港内を南進中、船長が居眠りに陥った。船長は、那覇港倭口第4号灯標（以下「本件灯標」という。）と衝突する前に目覚め、機関を後進としたが間に合わず、本船は、平成22年1月18日10時55分ごろ、本件灯標に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 ほぼ高潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、那覇港内を南進中、操船中の船長が、周囲に他船が見当たらなかったため、操舵室右舷側の座席に腰掛けていたところ、居眠りに陥ったものと考えられる。 船長の休暇は、月に4～5日程度で、運航中止などの不定期な休暇であったものと考えられる。 本船は、1回の航海が1時間程度で、1日6回の運航を行っていたものと考えられる。 船長は、当時46歳で、十数年程度船長職の経験があったものと考えられる。 船長は、当時、眠気を催す薬品を摂取していなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が那覇港内を南進中、操船中の船長が居眠りに陥ったため、本件灯標に向けて航行し、本件灯標に衝突したことにより発生したものと考えられる。	

